

Hachioji 5th Junior High School

八王子市立第五中学校

学校だより



第6号

令和8年10月9日（金）

【トピック】

- ・ 令和8年度 生徒会役員選挙
- ・ 校長室からのメッセージ「恐れを知る」
- ・ 教育活動の様子
- ・ 第3学年 起業家教育プログラム
- ・ 第2学年 職場体験(キャリア教育・アントレプレナーシップ教育)
- ・ 令和8年度 全国学力学習状況調査結果 英語科



日本遺産

JAPAN HERITAGE

【教育目標】 心身共に健康 人・地球との共生 未来社会への知性

令和8年度 生徒会役員選挙 主権者教育

9月8日(火)に生徒会役員選挙 立会演説会等が実施されました。1年生は信任投票、2年生は8名の立候補者による選挙となりました。1年生、2年生の候補者と応援演説者がそれぞれ公約等を掲げ、立派に演説を行いました。



投票は八王子市選挙管理委員会からお借りした本物の投票箱を使用しました。

第五中学校
グループ

第五中学校は、第一小学校と第四小学校とともに、
小中一貫教育を合同一体で行っています！

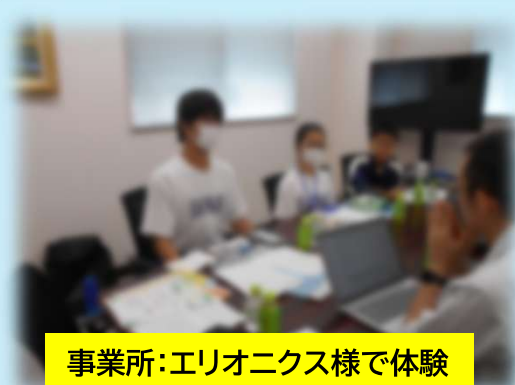


発行 八王子市立第五中学校
住所 八王子市明神町4丁目19-1
電話 042-(642)-1633



学校ホームページ
二次元コード

○ 第2学年 職場体験（キャリア教育・アントレプレナーシップ教育）



事業所:エリオニクス様で体験



事業所:秋間電設様で体験



事業所:静教保育園様で体験

令和8年10月1日、2日(木・金)に第2学年は職場体験(キャリア教育・アントレプレナーシップ教育)を地元の事業所様の協力を頂き、実施しました。第五中学校は地元の事業所にこだわって職場体験を行っています。昨年の令和7年度から、本校の職場体験はこれまでの職場体験を改善し、アントレプレナーシップ教育として事業所が抱える課題の解決のために、経営者の視点、お客様の視点、従業員の視点から事業所の課題解決策を企画立案、そして提案させていただき取り組みを進めています。そのために、職場での実体験を通して、先ほど述べた3つの視点を踏まえ、課題解決を行います。今後は、体験先の事業所様に生徒から課題改善の提案をさせていただき予定です。

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果(第3学年)

【英語科】

平均正答数集計値

	生徒数	平均正答数	標準偏差
八王子市立第五中学校	164	4.2 / 7	2.1
東京都(公立)	68,432	4.3 / 7	2.0
全国(公立)	839,203	3.7 / 7	2.1

技能別平均正答数集計値

	聞くこと	読むこと・書くこと
八王子市立第五中学校	1.3 / 2	3.0 / 5
東京都(公立)	1.3 / 2	2.9 / 5
全国(公立)	1.2 / 2	2.5 / 5

【全体の傾向】

学年全体の平均正答率は4.2問と東京都平均と比べると-0.1ポイント、全国平均と比べると+0.5ポイントとなった。全体として、基礎的・基本的な英語の知識・技能は概ね定着していると考えられる。特に聞くことや情報を読み取る問題では、全国平均を上回る設問が多く見られた。しかし、文章全体の内容を捉える問題や自分の考えや経験を英語でまとまりのある文章として表現する問題では課題が見られた。

【領域ごとの傾向】

「聞くこと」の平均正答数は1.3問(2問中)で、東京都平均と同程度、全国平均を上回った。また、「読むこと・書くこと」は3.0問(5問中)で、東京都平均をやや上回り、全国平均を上回る結果となった。

設問別では、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりする問題の正答率が高く、情報を基に判断する力は身に付いていることが考えられる。一方で、表1の大問9では、物語全体を通して登場人物の気持ちの変化を捉える問題や、表2の自分の考えや理由をまとまりのある英文で表現する記述問題での正答率が低く、文章全体を把握する読解力や表現力が課題である。一文ごとの意味は取れているが、文章全体を読んで流れを理解することに課題が見られる。教科書を読むとき際には、登場人物の気持ちの変化や行動の理由に触れ、要点や概要を捉えることができるように指導していく。また書くことにおいて、表2の大問11①を見ると「現在形を書いてしまう、be動詞と一般動詞を混在させる生徒」が一定数いる現状が見受けられる。それぞれの文法は知っているが、運用できていない。しかし、無解答率は低く、「分からないから何も書かない」生徒は少ない。そのため、授業内での文法事項の確認やグループでの学び合いを通して、それぞれの既習文法についての理解を深めていく必要がある。

夏から秋にかけて、報道の多くは自然災害を扱う時間や内容が多かったような気がします。熊本県を襲った地震、8月と9月に発災した千葉豪雨、トリプル台風など現在でもテレビや新聞で継続して伝えられています。

実は、私自身、8月の千葉豪雨が発災した当日に千葉市にいました。連日連夜、数メートル先までしか見えない程の大雨と鳴りやまない雷が続きました。夜が明けても大雨は降り続け、低地の住宅は人の肩あたりまで水がたまり、車がプカプカと浮いていました。幸いにも実家は被災しませんでした。同じ町のあちこちで大きな被災が見られました。雨が一時的に上がり、車で近所を走れば、走行不能となった車が何十台と道路に放置されている状況がありました。母校である高校の前を通り過ぎたのですが、校庭は30cm近くの水深でまるで湖のようでした。また、近所に住む70代の方とお話ししましたが、何十年も同じ場所に住んでいるが、「このような大雨は初めてだ」と言っていました。

普段は、日本や世界で発生している災害報道を画面を通して見ていますが、実際に災害を体験するとその恐ろしさがよくわかります。何気なく日常生活を送っていたり、災害に遭わない状況が続いていたりすると、誰しも気が付かないうちに危機管理の意識やその対応に鈍感になるということに改めて実感しています。

登山家の長谷川恒男さんは「恐れを知っていた方がいいんです。怖いという感情を大切にしないといけません。怖さを忘れてしまった人ほど恐ろしい人はいない。」と言っています。登山家として自然の恐ろしさ、自然への畏敬の念を感じているのだと思います。広大な平原、そびえ立つ山脈、果てしない水平線、地球には息をのむほどの美しい自然があります。

地球の自然は、人類が誕生する遥か前から育まれてきました。人間だけではなく、あらゆる動植物は自然の営みによって生命を営んでいます。しかし、時に、自然は荒々しい姿を見せ、海は荒れ狂い、山は噴煙を上げ、大地は揺れます。

自然は私たちに感動や恵みを与えてくれると同時に、人間の力を超えた力で、私たちに畏敬の念を抱かせてくれます。私たちは、有限な存在ですから、そのことを謙虚に受け止め、自然との共存を一人ひとりが考えることが大切ではないでしょうか。近年は地球温暖化やスーパーエルニーニョなど、地球の環境が大きく変わってきているのですから、私たちも変化が必要です。大雨や台風、地震、落雷など、生活や命に係わるということがいつでも発生するということを確認し、自らの命を守る術と、その知識を身に付けることが大切です。

普段からの自然災害などの備えを行い、万が一災害に遭ったとしても正しく対応できるように対策を考えておきましょう。

「保護者サロンー専門家とともにー」の開催のお知らせ

お子さんの発達のことでお悩みの方を対象に、講師による講話や相談、参加者同士の交流の機会を提供します。各開催日のテーマや申込方法等の詳細につきましては、市のホームページ（下のQRコード）からご覧ください。

1. 対 象 市内在住の中学生以下のお子さんの保護者
2. 日 時 令和9年1月29日・2月15日・23日、3月12日（全4回）
※各回午前10時から正午まで
3. 会 場 八王子市教育センター
4. 定 員 各80名（先着順）
5. 問合せ 教育指導課（教育センター） 電話：664-1135



教育活動の様子

○2学期 中間考査



令和8年9月14日、15日(火・水)に2学期中間考査が行われました。

中間考査や期末考査は中学校学習指導要領に示された内容の定着状況の一部を把握するためのものです。これから社会で生きる上で、義務教育9年間で学んだことを活用・応用して何かの役に立たせることが大切です。数十年前の古い考え方の一つである「成績を上げるため」という安易なことではなく、将来、様々な課題を解決していく為に必要な知識として、学力を身に付けて欲しいと思います。

○2年生 マナー教室



令和8年9月15日(水)に職場体験前マナー講座を、ハローワーク八王子就職支援ナビゲーターの方を講師に、社会人として、働く上で大切な考え方など、事例を踏まえてお話しいただきました。10月1日(木)から10月2日(金)の2日間で職場体験(アントレプレナーシップ教育)を行う上で、役に立つ内容でした。本校では、地元事業所の方の御協力の下、企業家としての視点、お客様の視点、仕事に携わる方の視点から、各事業所の課題解決のための企画立案を行い、提案させていただくなどの取組を進めていく予定です。

○ 第3学年 起業家教育プログラム



銀行の方の紹介と各会社の決算



各会社が銀行の方に決算報告と融資返金



各会社が銀行の方からアドバイスを受ける

令和8年9月17日(木)に第3学年 起業家教育プログラム(全15時間)の取組の最終回がありました。この教育活動は、総合的な学習の時間の中で、キャリア教育の一環として実施しているものです。

起業家教育プログラムは、東京都産業労働局商工部創業支援課、西武信用金庫八王子支店、東日本銀行北野支店・八王子支店、角川アスキー総合研究所等の御協力を頂き、生徒が仮想の企業を起業し、販売商品開発、銀行と折衝・融資、販売、決算等を通して、起業家としての考えやスキル等を身に付けるものです。

写真は、御協力頂いた銀行の方へ研鑽報告と融資された資金の返金、授業計画の見直し等を行っている場面です。最後に、各会社の社長(生徒)や販売・広報担当(生徒)等からの事業成果発表を行い、各銀行からアドバイスを頂きました。

自ら起業し、販売戦略立案や商品開発、融資、決算を通して、多くのことを学べたと思います。さらに、学校で学んだこともフル活用して様々な課題を克服したり、乗り越えたりする経験もできたのではないのでしょうか。